

にしっこ 西っ子のみなさんへ

140 3月3日

今日、3月3日は、「桃の節句」「雛祭り」の日で、
女の子の健やかな成長を願う日です。

女の子のいる家庭では、雛人形を飾り、桃の花・
菱餅・雛あられをお供えして、白酒や寿司などの
飲食を楽しむ節句祭りを行います。

節句には5つあり、「人日（1月7日）」「上巳（3月3日）」「端午（5月5日）」「七夕（7月7日）」「重陽（9月9日）」を「五節句」といいます。

桃の節句はもともと3月上旬の巳の日に行っていましたが、中国の魏の時代のより3月3日に行われるようになったとされています。



上巳の日には、紙製の小さな人形にけがれを移し、川や海に流して災厄をはらうという行事行ってきました。平安時代から行われてきた「流し雛」の風習は、現在でも日本各地に残っています。もとは紙人形であったものが次第に精巧で豪華なものになり、飾るものへと変化してきました。桃の節句が庶民の行事となったのは江戸時代からです。



右の2つの写真を比べてみると、お内裏様とお雛様の位置が異なっています。これは、左右どちらが上座かということからきています。古来から日本では左が上座ですが、西洋では右が上座とされています。

関東雛は「向かって左がお内裏様」、「右がお雛様」で、京雛は「向かって左がお雛様」、「右がお内裏様」になっています。

京都の町の地図を見ると、東（右）側に左京区、西（左）側に右京区があります。実は、天皇様が生活していた御所から京都駅の方角を向いて地名が付けられているので、東に左京区、西に右京区となるわけです。地図は北を上にして見るので左右が逆になります。左側が上座というのは、上座に座る人にとっての左側が上座で、対する場合は右側になり、京雛の位置関係になるのです。

岐阜の雛人形は、どちらもありみたいです。